

## 四季のコンサート だより

1995年8月20日発行

浜松音楽友の会

事務局 浜松市東伊場1-10-507

電話連絡 473-3579 (原)

## 「アン・マリー・マクダーモットさんを迎えて」

松本総一郎

平成7年度の「四季のコンサート」のオープニングを飾ったのは、アメリカの若手女流ピアニスト、アン・マリー・マクダーモットさんでした。4月27日の木曜日に浜松市教育文化会館ホールでアン・マリー・マクダーモットピアノリサイタルが開催され、会員の方々と初め多くの聴衆を魅了した一夜となりました。マクダーモットさんはニューヨークで生まれ育ち、マンハッタン音楽院で世界的ピアニストとして著名なジョン・ブラウニング氏の下で研鑽を積み、弱冠20歳で既にアメリカのメジャーなマネージメントの1つであるハーバード・パートレットの専属アーティストとして演奏活動を始められた、大変に才能に恵まれたピアニストです。4年前ここ浜松市で初めて開催された「第1回浜松国際ピアノコンクール」に於いて、マクダーモットさんは見事第2位に入賞され、合せて課題曲であった日本人作曲家の作品演奏に対して送られる最優秀賞も獲得されました。私はこのコンクールの時までマクダーモットさんのことを存じ上げませんでした。第2次予選において彼女の豊かな音楽性、深い洞察力、音色の美しさに目を見張らされたのを昨日の様に思い出します。その後、本選会においても素晴らしい演奏をして、多くの人々に深く印象を残していったマクダーモットさんに、いつか友の会で「四季のコンサート」に招いて静岡と浜松で公演をして頂こう、という話が持ち上がったのも全く不思議ではありませんでした。友の会が単独で外国人アーティストを招聘するのはこれが初めてのことだったそうで、スタッフの方々一同大変に張り切っておられました。実際に話はトントン拍子に進み、日程や公演条件の交渉も滞りなく済みしました。恰もその期待に、待ってましたというかの如く、マクダーモットさんは澁刺と来日され、大変素晴らしい演奏を聞かせて下さいました。常に美しい響きを大切に、大変にバランスの良い演奏でした。また、持ち前の深い表現力を存分に発揮し、非常に説得力のある、魅力に溢れた演奏だったと思います。彼女のこの持ち味が一番発揮されたのは、なんととってもシューベルトのソナタではなかったかと思えます。あの「天使の歌」の様な第2楽章で我を忘れたのは、私だけではなかったと思えます。マクダーモットさんは非常に明るくて気さくなお人柄で、インタビューもとてもやり易く、楽しく接することが出来ました。ほんの数時間の接触を通して、マクダーモットさんの音楽に対する純粹で真剣な姿勢、また厳しく自分を見つめながら理想を追っていくひたむきな姿に、新たに感動を覚えました。スタッフやファン、及び関係者に感謝の意を表し、日本に来られたことを本当に喜んでおられたマクダーモットさんの、ますますのご活躍を心からお祈りしたく存じます。



アン・マリー・マクダーモットさんにインタビューする筆者 (1995. 4. 27)

## 「ブラヴォー！」トリオ・ディ・トリノ!!

美 和 雅 樹

こんなに感動したのは本当に久しぶりです。心から「良かった」と言える素晴らしい演奏会でした。本年度のちらしを見たときから、よい演奏会になるだろうという予感がありました。トリオ・ディ・トリノは、コンクール歴もさることながら、そのプログラムの多彩さが、演奏が上手いだけでなく確固とした自信を持っている証だと直感したからです。

いよいよ演奏開始。ベートーヴェン冒頭の力強い Tutti が鳴り響いた瞬間、私の直感が当たったことを確信しました。ピアノ、ヴァイオリンとチェロという三つの楽器が演奏しているのではなく、ピアノ三重奏という一つの楽器が音楽を奏でているというほど息がピッタリと合っていて一体化していました。続いてのラヴェルは、たった三つの楽器でこんなにも様々な音色が出来るものなのかと驚嘆させられました。休憩後はこの夜のメインプログラム、名曲のメンデルスゾーンです。冒頭のチェロの深い響きから心を引き付けられ、終楽章までぐいぐいとめり込まれるすごい演奏で、最後の音が鳴り終わった瞬間、今まで一度も言ったことが無い「ブラヴォー」を知らぬ間に叫んでいました。拍手大喝采に答えてのアンコールも乗りに乗った演奏で、幸せな気持ちで心が一杯に満たされて家路につきました。このようにすてきな演奏家を招くことができる音楽友の会の運営委員の皆様、心より敬意を表します。

ただ、残念なことは、アンコールが一曲終わったら一斉に立ち上がって帰り始めた方が多くいらっしゃったことです。あれでは、演奏家が「自分達の演奏が気に入らなかったのか」と誤解してしまいます。それに、あの夜の彼らはとても乗っていましたから、拍手を送れば時間の許す限り何曲でもアンコールを演奏してくれたことでしょう。そうしたら、彼らの色々な面が見られて良かったのと思います。拍手は演奏家と聴衆とがコミュニケーションできる唯一の方法だと思います。もっと上手に拍手できたらもっと良い演奏会になったことでしょう。とにかく、あの日、あの時、あの場所にいた私達は幸せです。

P. S.

主催者の方々にお願いがあります。演奏開始後にお客さまを入れる場合は、楽章間ではなく、曲間をお願いします。次の楽章に移りたくても、弱音から始まるので、席を捜して歩いているお客さまが席について会場が静かになるまでなかなか始められなかったり、楽章間を空けずに直ぐ次の楽章に移ったために、歩いているお客さまの靴音が音楽に被ってしまったりした場面がありました。1曲目は軽くさっと終わりがかったのに、楽章間のまごつきで少し間延びしてしまったことは、主催者の責任が大だと思います。また、聴衆にも「遅れてきたら一曲丸々聴けなくなるんだよ。」「余裕をもって会場に向かおうね。」という意識が育ち、雰囲気的にも落ち着いたよい演奏会になっていくのではないのでしょうか。

## “会員からのお便り”

後 藤 雅 子

格安の入場料もさることながら、毎回々々素晴らしい出演者の手配等、スタッフの皆様のお苦勞を思い、いつも心から感謝でいっぱいです。“ふれあい音楽会”の会員のひとりとして、ごく一部の人のために感じたことですが、気がついたことを少し述べさせていただきます。

演奏が始まったら、楽章の合間でも、入場するのを遠慮したらどうでしょうか。また財布や車の鍵、子供のバッグ等に音の出る物をつけていたら、演奏中はさわらない様にはしたいですね。ガサガサという紙袋の音も、とても耳障りになります。素晴らしい音楽を演奏者も含めて会場全員で楽しむためには、演奏者への思いやりとしてのマナーを身につけるべきだと思います。

前回7月14日“トリオ・ディ・トリノ”室内楽の夕べでは、第1楽章が終わった時に、ザワザワと席に着いた人達がいる、演奏者がとても哀しそうな表情をされたことが気になりました。



## ★事務局より

左の頁で会員の方より届いたご意見二件をご紹介いたしました。

発足以来10年余が過ぎ、この会が皆様にささえられて大きく成長していると感じさせられました。とても貴重なご意見を本当にありがとうございました。

♪

これまでは演奏家の方が了解して下さった時は、楽章の合間でも入場していただいできましたが、これからは、曲がはじまったらその曲が終わるまで、ロビーでお待ち下さいませようお願い致します。

もちろん、ロビーに音と映像はお届けします。一曲終了しましたら入場していただきますが、次の曲との間が短いこともありますので、入口近くの席に座ってお聴き下さい。

♪

会場の最前列には、小さなお子様のみでの着席はできるだけご遠慮下さいませようお願い致します。5、6列位までの席は、演奏者からもよく見え、小さなお子様が体を動かしたりしますと、集中して演奏できないこともあるようです。

## 次回コンサート

豊田喜代美ソプラノリサイタル      ピアノ：若林 顕  
9月7日(木) 6:45 P.M.

実力、人気ともに日本を代表するソプラノ。

浜松ではなかなか聴く機会のない「ドイツ歌曲の夕べ」の素晴らしいプログラムです。

伴奏者は、日本が誇る若手ピアニストの若林 顕さん。この大変豪華な一夜を、是非お見逃しなくお出かけ下さい。

### プログラム

F. シューベルト：野薔薇 D.256

ガニメード D.544

春の信仰 D.686

J. ブラームス：まどろみはいよいよ浅く OP.105-2

われら、さすらった OP.96-2

日は、山の上に～セレナーデ OP.106-1

R. シューマン：リーダークライスより

第2曲 インテルメッツォ

第5曲 月の夜

第12曲 春の夜

F. ヴォルフ：隠棲（メーリケ歌曲集 第29曲）

私の髪のかげで（スペイン歌曲集 第2曲）

アナクレオンの墓（ゲーテ歌曲集 第29曲）

祈り（メーリケ歌曲集 第30曲）

G. マーラー：リュッケルトの詩による5つの歌曲

私の歌を覗き見しないで

私はほのかな香りを吸い込む

私はこの世から姿を消した

真夜中に

美しさゆえに愛するのなら

1996年 ぶらあいおんがくかい 予定

春 梶山久美ヴァイオリンリサイタル 4月16日(火)

ウィーンをはじめヨーロッパの巨匠達に絶賛されている注目のヴァイオリニスト。意欲的なプログラムが楽しみです。

浜松出身の演奏家シリーズⅢ

倉田 寛トロンボーンリサイタル 6月13日(木)

第11回日本管打楽器コンクールで日本人最高位の第3位入賞。世界へはばたく注目の、若手の地元浜松での初リサイタルです。神奈川フィルハーモニー管弦楽団団員

夏 伊原直子メゾソプラノリサイタル 7月6日(土)

オペラから歌曲 宗教曲や第九のソロまで、各分野で大活躍の日本の第一人者のリサイタルがやっつと浜松で実現します。どうぞご期待下さい。

秋 林 峰男チェロリサイタル 10月11日(金)

スーパートリオでもおなじみの日本を代表するチェロの第一人者! 今年デビュー20周年の彼を、初めて浜松に迎える待望のリサイタル。

冬 シュー・ツォン(許 忠)ピアノリサイタル 12月3日(火)

第1回浜松国際ピアノコンクール第3位、第5回日本国際コンクール第1位。1996年チャイコフスキーコンクール第4位の輝やかなしいキャリアをもつ大型若手ピアニストです。

各回共 於：浜松市教育文化会館

会員の皆様へのお願い

会員日より 皆様のご寄稿をお待ちします。400字詰原稿用紙2枚以内でお願いいたします。テーマは自由です。

会 員 登 録 は年度が変わってもそのまま継続されます。

退会希望の方は、ハガキに住所 氏名 電話 会員番号をご記入の上、前年度の12月末日迄に、事務局宛退会の旨をご連絡下さい。

名義変更の方も、ハガキに旧会員と新会員の住所 氏名 電話 会員番号(旧会員の)をお書きの上事務局宛お送り下さい。

保育室御利用の方は、コンサートの前日までに、戸部 ☎053(454)5359までお申し込み下さい。

開場時(開演30分前)から終演までお預りします。1回300円です。